

第8回 東京大学小児医学研究会 プログラム

平成21年1月25日 於東京大学医学部付属病院入院A棟15階大会議室

発表7分 討論8分

◆ 開会の辞

五十嵐 隆

◆ セッション1 心疾患

9時30分から10時15分

座長 賀藤均（成育医療センター循環器科）

① 肺炎を契機に診断されたBland-White-Garland(BWG)症候群の5か月女児例

本村あい（茅ヶ崎市立病院小児科、現東京大学小児科）

② 緊急BAS(balloon atrioseptostomy)を施行したが救命し得なかった肥大型心筋症（閉塞型）の乳児例

柏井洋文（八王子小児病院小児内科）

③ 当院における成人先天性心疾患の手術例の検討

香取竜生（東京大学小児科）

◆ セッション2 呼吸器疾患

10時15分から11時00分

座長 小太刀康夫（東京大学小児科）

④ 気管支閉鎖の1例

松岡貴子（東京大学小児科）

⑤ 気管支拡張症で発見された原発性免疫不全症の一例

自見英子（青梅市立総合病院小児科）

⑥ 当院で経験した急性喉頭蓋炎の2例

高畠和章（都立府中病院小児科）

休憩 11時00分から11時05分

- ◆ セッション3 心疾患（リズム異常） 11時05分から11時35分
座長 金子正英（成育医療センター循環器科）
- ⑦ 当院で経験した先天性完全房室ブロックの8例
林泰祐（成育医療センター循環器科）
- ⑧ 術後完全房室ブロックに対し左室ペーシングから右室ペーシングに切り替えて1年で心不全をきたした22p11.2欠失症候群の剖検例
小田洋一郎（茅ヶ崎市立病院小児科）
- ◆ セッション4 川崎病 11時35分から12時20分
座長 小野博（東京大学小児科）
- ⑨ 川崎病治療に関する多施設共同研究～静岡川崎病研究会第2報～
日比野健一（藤枝市立総合病院）
- ◆ 講演1 川崎病における免疫グロブリン抵抗例の予測と治療層別化の可能性
小林徹（群馬大学小児科）
- 昼 食 アボットジャパン 12時20分から13時00分
- ◆ セッション5 症候群、新生児 13時00分から13時45分
座長 伊藤直樹（東京大学小児科）
- ⑩ 在宅医療を導入した複雑心奇形をもつEdwards症候群の2例
林郁子（茅ヶ崎市立病院小児科）
- ⑪ 巨大心臓腫瘍にてHLHS（左心低形成症候群）様の循環動態を新生児期に呈した結節性硬化症の一例
横山晶一郎（八王子小児病院小児内科）
- ⑫ 大動脈弓離断症の1例

関正史（焼津市立病院小児科）

◆ 講演2 胎児心エコー 13時45分から14時25分
渋谷和彦（都立八王子小児病院小児内科）
座長 香取竜生（東京大学小児科）

◆ セッション6 危急症例 14時25分から15時25分
座長 香取竜生（東京大学小児科）

⑬ 急性呼吸不全で発症した僧帽弁腱索断裂の4ヶ月男児例
朝海廣子（成育医療センター循環器科）

⑭ pulmonary sling の1例
渡辺優（太田西ノ内病院小児科）

⑮ 啼泣後 cyanosis を主訴に夜間救急外来を受診した3例
神田祥一郎（東京大学小児科）

⑯ 心不全症状で来院した急性糸球体腎炎の10歳男児
寺嶋宙（青梅市立総合病院小児科）

終了後 懇親会（ブルークレールにて）

共催 アボットジャパン